

36 食品ロス削減・プラスチック資源循環対策

令和8年度予算概算決定額 89百万円（前年度 65百万円）
〔令和7年度補正予算額 260百万円〕

<対策のポイント>

食品企業における商慣習の見直し、取組開示の推進、未利用食品の供給体制の構築やDX等の新たな技術の活用等を通じた食品ロスの削減、農林水産業・食品産業でのプラスチック資源循環の取組を支援します。

<事業目標>

- 2000年度比で事業系食品ロス量を60%削減（231万トン[令和5年度実績]→219万トン [令和12年度まで]）
- 食品リサイクル等実施率を向上（食品小売業63%→65%、外食産業34%→50% [令和5年度実績→令和12年度まで]）
- 海洋プラスチックごみによる追加的な汚染をゼロまで削減 [令和22年まで]

<事業の内容>

1. 食品ロス削減総合対策事業

43百万円（前年度 43百万円）

- ① 食品ロス削減に向けた商慣習の見直し等の取組や優良事例について、地方・中小企業を含めた業界全体に展開を図る活動
- ② 企業による食品ロス削減等の取組の評価・開示の仕組みの構築に向けた検討を実施するとともに、食品廃棄物等の可食部・不可食部の量等の調査を支援します。

2. 食品ロス削減等緊急対策事業

【令和7年度補正予算額】200百万円

食品企業における未利用食品の供給体制の構築やDX等の新たな技術の活用による食品ロス削減、地域の関係者が連携した食品リサイクルの効率化等の取組の実証や横展開等を支援します。

3. 農林水産分野における持続可能なプラスチック利用対策事業

47百万円（前年度 22百万円）

【令和7年度補正予算額】60百万円

- ① 食品産業における再生プラスチック利用拡大に向けた調査及び課題整理、環境配慮設計の標準化に向けた取組
- ② 農畜産業における廃プラスチックの排出抑制と資源循環利用の推進に向けた先進的事例調査、プラスチックを使用した被覆肥料に関する調査等の取組
- ③ 効率化・低コスト化を目指した漁具リサイクルのモデル実証等の取組を支援します。

<事業の流れ>



お問い合わせ先

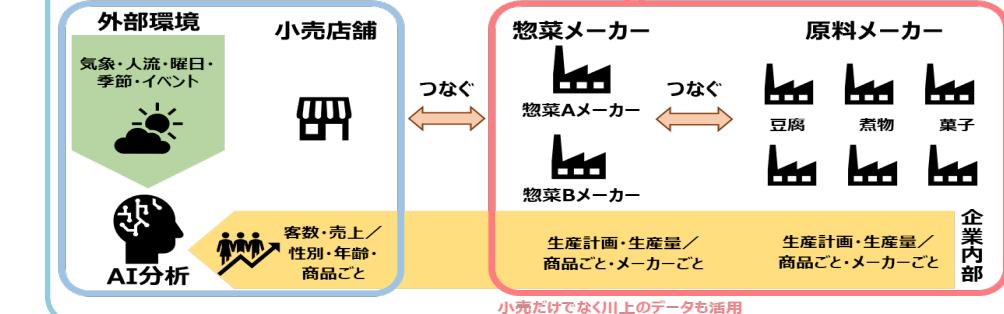
<事業イメージ>

食品ロス削減に資する新たな技術の活用

これまでのデータ活用範囲（一部事業者）
効果は限定的

サプライチェーン全体で
データを活用

□ 発注数量を最適化
□ 発注リードタイムを延長



プラスチック資源循環の取組

食品産業

1. 再生プラ利用拡大に向けた
・実態調査（利用・排出実態等）
・課題整理・対応策の整理
〔プラスチック容器包装の
ライフサイクルにおける課題
(素材、コスト、品質、汚れ等)〕
2. 業界横断的な設計の標準化
〔業界横断的な
検討・意見調整 設計基準・
ガイドライン策定〕

農畜産業

1. 農畜産業由来の廃プラの
排出抑制・資源循環利用の
推進に向けた調査等



ハウスフィルム

サイレージラップ

サイ

ラップ

サイ

ラップ